

中央社会保険医療協議会 総会（第120回） 議事次第

平成20年1月23日（水）

於 厚生労働省

専用第18～20会議室

議 題

- 医療技術の評価・再評価について
- 既存の先進医療に関する保険導入等について

医療技術の評価・再評価について

平成20年1月23日
診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会
分科会長 吉田 英機

中医協基本問題小委員会において、昨年2月に診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において学会から提出される医療技術評価提案書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を実施することとされたところである。今般、医療技術の評価・再評価について最終的な検討結果を取りまとめたことから、当分科会における評価結果を報告するものである。

1 医療技術の評価・再評価に係る実施方法

- (1) 医療技術の適正な評価の観点から、医療技術評価分科会において学会等から提出される医療技術評価希望書に基づき、新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価を1次評価及び2次評価の2段階とし、保険診療に精通した医学、歯学、薬学、看護学等の有識者で構成される以下の6分野のワーキンググループを設置し評価を行った。具体的には、昨年3月から昨年6月にかけて、関係学会から提出のあった医療技術の評価・再評価に係る提案書を評価の対象とした。

WG1：眼科、耳鼻咽喉科、歯科系、皮膚・皮下組織
WG2：循環器系、救急、麻酔、放射線
WG3：消化器、肝臓・胆道・膵臓、乳腺、呼吸器
WG4：泌尿器・男性生殖器、産婦人科・女性生殖器、新生児・小児
WG5：内分泌・栄養・代謝、血液・造血器・免疫臓器、調剤、看護
WG6：精神、神経、筋骨格筋、その他

- (2) 1次評価において引き続き検討することが適当とされた医療技術について、医療技術評価分科会において分野横断的なより幅広い観点から2次評価を行った。

2 医療技術の評価結果

【1次評価結果】

項目		件数
医療技術評価・再評価提案件数		681件 (重複分をカウントすると812件)
1次評価結果	① 1次評価において引き続き検討することが適当とされた技術	233件
	② その他の技術	345件
	③ 基本診療料、指導管理等、在宅医療に係る技術	103件

【2次評価結果】

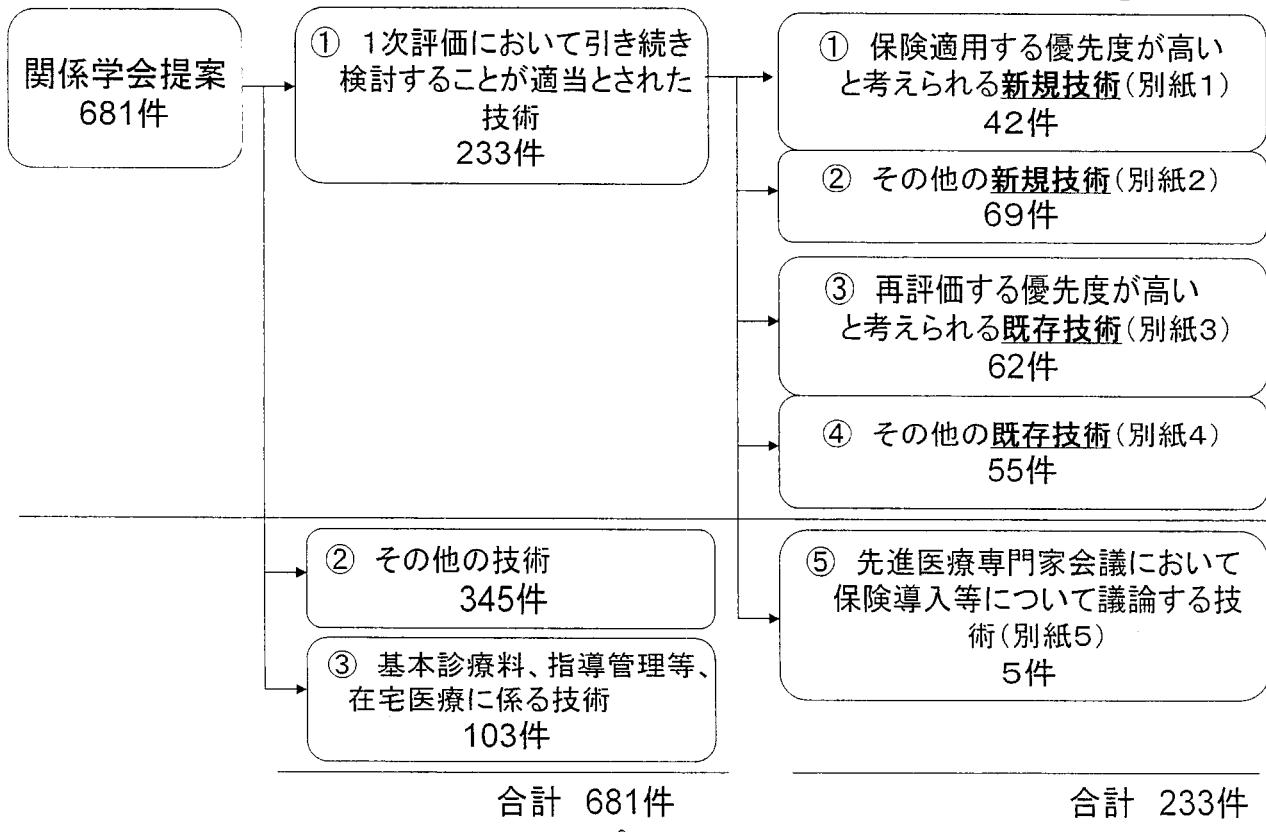
項目	件数
① 保険適用する優先度が高いと考えられる新規技術(別紙1)	42件
② その他の新規技術(別紙2)	69件
③ 再評価する優先度が高いと考えられる既存技術(※)(別紙3)	62件
④ その他の既存技術(別紙4)	55件
⑤ 先進医療専門家会議において保険導入等について議論する医療技術(別紙5)	5件
合計	233件

(※)再評価の中には、増点、減点、廃止、要件の見直しが含まれる。

医療技術の評価・再評価について(概要)

【 1次評価 】

【 2次評価 】



(別紙1)

保険適用する優先度が高いと考えられる新規技術(案)

	提案書の技術名	主申請団体	概要
1	尿路ストーマカテーテル交換料	日本 Endourology・ESWL 学会	尿路ストーマカテーテル交換技術の評価
2	早期リハビリテーション加算	日本リハビリテーション医学会	早期リハビリテーションの評価
3	生体臓器移植ドナーの安全管理料	日本移植学会	生体臓器移植ドナーの安全管理の評価
4	内視鏡下移植用腎採取術	日本移植学会	内視鏡下移植用腎採取術の評価
5	噴門側胃切除術	日本胃癌学会	噴門側胃切除術の評価
6	先進画像加算：冠動脈 CT	日本医学放射線学会	冠動脈 CT の評価
7	先進画像加算：心臓 MRI	日本医学放射線学会	心臓 MRI の評価
8	リンパ浮腫誘導手技料・指導料	日本外科学会	リンパ浮腫誘導の評価
9	食道内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	日本外科学会	食道内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD) の評価
10	経皮経肝的肝膿瘍ドレナージ術	日本肝胆膵外科学会	経皮的肝膿瘍ドレナージ術の評価
11	厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常に対する歯科矯正治療	日本矯正歯科学会	厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常に対する歯科矯正治療の評価
12	骨内異物(挿入物)除去術：頭蓋・顔面 1. 1ヶ所	日本形成外科学会	骨内異物(挿入物)除去術(頭蓋・顔面1ヶ所)の評価
13	骨内異物(挿入物)除去術：頭蓋・顔面 2. 2ヶ所以上	日本形成外科学会	骨内異物(挿入物)除去術(頭蓋・顔面2ヶ所)の評価
14	悪性びまん性胸膜中皮腫に対する胸膜肺全摘術	日本呼吸器外科学会	悪性びまん性胸膜中皮腫に対する胸膜肺全摘術の評価
15	コンベックス走査式超音波気管支鏡下針生検	日本呼吸器学会	コンベックス走査式超音波気管支鏡下針生検の評価
16	静脈内鎮静法	日本口腔外科学会	静脈内鎮静法の評価
17	肺血栓塞栓症予防管理料	日本口腔外科学会	肺血栓塞栓症予防管理の評価
18	24時間自由行動下血圧測定	日本高血圧学会	24時間自由行動下血圧測定の評価
19	A-IPC療法(非侵襲性菌髄覆罩法)	日本歯科保存学会	深在性う蝕歯の菌髄を保存するためのA-IPC療法(非侵襲性菌髄覆罩法:Atraumatic-IPC)の評価
20	サポータティブ歯周治療(SPT)	日本歯周病学会	歯周病の病状安定期におけるサポータティブ歯周治療(SPT:Supportive per periodontal therapy)の評価

その他の新規技術 (案)

	提案書の技術名	主申請団体
1	腹腔灌流 (CAPD 等) 導入時、自己管理支援	内科系学会社会保険連合
2	血球成分除去療法	日本アフェレンシス学会
3	血漿交換療法 (適応疾患拡大: 抗糸球体基底膜抗体型急速進行性糸球体腎炎)	日本アフェレンシス学会
4	運動負荷試験 (喘息)	日本アレルギー学会
5	透視下加算 (レントゲン透視下・Eコー下・CTT下・MRI 下等)	日本ペインクリニック学会
6	コンピュータによる筋力検査	日本リハビリテーション医学会
7	義肢・装具処方、仮合せ、適合判断料	日本リハビリテーション医学会
8	集団リハビリテーション料	日本リハビリテーション医学会
9	肝門部胆管癌切除術 1. 血行再建なし	日本外科学会
10	肝門部胆管癌切除術 2. 血行再建あり	日本外科学会
11	肺動脈血栓内腔摘除術	日本外科学会
12	マラリア簡易迅速検査試薬 (pan-R Malaria Cassette, Parbio, Ltd)	日本感染症学会
13	肝切除術: 系統的亜区域切除	日本肝胆膵外科学会
14	肝臓断切除術	日本肝胆膵外科学会
15	鏡視下肩腱板断裂手術 (単単)	日本関節鏡学会
16	鏡視下肩腱板断裂手術 (複複)	日本関節鏡学会
17	鏡視下自家骨軟骨移植術	日本関節鏡学会
18	ロービジョン指導管理料およびロービジョン訓練	日本眼科医学会
19	ウイリス性眼疾患に対する POR 検査	日本眼科医学会
20	眼圧日内変動検査	日本眼科医学会
21	前眼部3次元画像解析	日本眼科医学会
22	前房水・硝子体採取検査	日本眼科医学会
23	胸腔鏡下胸管結紮術	日本胸部外科学会
24	大動脈弁十上行大動脈瘤切除	日本胸部外科学会
25	顔面多発骨骨折変形治療矯正術	日本形成外科学会
26	破裂性腹球中の Wt1 mRNA 測定 (リアルタイム PCR 法)	日本血液学会
27	末梢血白血球中の Wt1 mRNA 測定 (リアルタイム PCR 法)	日本血液学会
28	胸水中ヒアルロン酸測定	日本呼吸器学会
29	下顎関節突起骨折観血手術 (片側)	日本口腔科学会
30	下顎関節突起骨折観血手術 (両側)	日本口腔科学会
31	前置胎盤帝王切開術	日本産科婦人科学会
32	分娩監視装置に対する生体検査判断料の適応	日本産科婦人科学会
33	マイクロプロセッサによる副鼻腔手術 (Powered ESS)	日本耳鼻咽喉科学会
34	音響鼻腔計測検査	日本耳鼻咽喉科学会
35	喉頭気管分離術	日本耳鼻咽喉科学会
36	内視鏡下嚥下機能検査	日本耳鼻咽喉科学会
37	指伸筋腱断日観血整復術	日本手の外科学会
38	手術の通則14の「ただし」以下に神経移植を追加する	日本手の外科学会
39	長期脳波ビデオ同時記録検査	日本てんかん学会
40	一酸化窒素吸入	日本小児科学会

21	深頸部膿瘍切開排膿術	日本耳鼻咽喉科学会	頸部膿瘍切開術 (深頸部) の評価
22	乳幼児食物アレルギー外来負荷検査	日本小児アレルギー学会	外来での乳幼児食物アレルギー負荷検査の評価
23	マイクロバブルテスト	日本小児科学会	マイクロバブルテストの評価
24	静脈切開による中心静脈栄養用カテーテル設置	日本小児外科学会	静脈切開による中心静脈栄養用カテーテル設置技術の評価
25	漏斗胸手術 (内視鏡法)	日本小児外科学会	胸腔鏡による漏斗胸手術の評価
26	先天的・遺伝的疾患児に対する小児義歯	日本小児歯科学会	先天的・遺伝的疾患児の小児義歯に対する評価
27	腹腔鏡下直腸切断術	日本消化器外科学会	腹腔鏡下直腸切断術の評価
28	胃瘻カテーテル交換手技料	日本消化器内視鏡学会	胃瘻カテーテル交換技術の評価
29	冠動脈 CT 解析加算	日本心臓病学会	冠動脈 CT の評価
30	神経学的診察技術料	日本神経学会	神経学的診察技術の評価
31	反復睡眠潜時試験 (MSLT)	日本睡眠学会	反復睡眠潜時試験 (MSLT) の評価
32	肛門鏡検査	日本大腸肛門病学会	肛門鏡検査の評価
33	造影超音波手技料、診断料	日本超音波医学会	造影超音波検査の評価
34	ベッセルシーリングシステム使用に対する技術加算	日本内視鏡外科学会	ベッセルシーリングシステムに対する評価
35	腹腔鏡下大腸全摘術	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下大腸全摘術の評価
36	四肢リンパ浮腫に対する弾性着衣を用いた圧迫療法	日本乳癌学会	四肢リンパ浮腫に対する弾性着衣を用いた圧迫療法の評価
37	大孔部減圧術	日本脳神経外科学会	脊髄空洞症、キアリ奇形における後頭孔拡大術の評価
38	脳血管 (頸動脈、椎骨動脈) 狭窄に対する血管拡張・ステント留置術	日本脳神経外科学会	頸動脈狭窄に対する血管拡張・ステント留置術の評価
39	尿失禁定量テスト (パッドテスト)	日本泌尿器科学会	尿失禁定量テスト (パッドテスト) の評価
40	ナローバンド UVB 照射治療	日本皮膚科学会	ナローバンド UVB 照射治療の評価
41	外来通院での放射線治療に対する評価	日本放射線腫瘍学会	外来通院での放射線治療の評価
42	凝固因子インヒビター定性試験 (クロスミキシング試験) (循環抗凝血素)	日本臨床検査医学会	凝固因子インヒビター定性試験 (クロスミキシング試験) (循環抗凝血素) の評価

41	尿中有機酸分析	日本小児科学会
42	内視鏡ファイブリングシステム	日本消化器内視鏡学会
43	軟性内視鏡に対する洗浄及び高度作用消毒	日本消化器内視鏡学会
44	ヘッドアップディスプレイ試験 (head-up tilt 試験) 検査料	日本神経学会
45	髄液タウ蛋白	日本神経学会
46	髄液リン酸ピタウ蛋白測定	日本神経学会
47	ナルコレプシーにおけるHLAタイピング	日本睡眠学会
48	鏡視下骨穿孔術	日本整形外科学会
49	肩関節腱板断裂手術 (複雑)	日本整形外科学会
50	造血細胞移植ドナーの安全管理	日本造血細胞移植学会
51	超音波エラストグラフィ	日本超音波医学学会
52	高感度CTP	日本動脈硬化学会
53	肺組織試験採取術 (胸腔鏡手術)	日本内視鏡外科学会
54	頭蓋内動脈ステント留置術	日本脳神経外科学会
55	脳深部刺激療法中の刺激条件設定の加算	日本脳神経外科学会
56	1. 勃起障害検査 短時間の場合	日本泌尿器科学会
57	2. 勃起障害検査 夜間の場合	日本泌尿器科学会
58	皮膚科光線療法 (2) 長波長紫外線又は中波長紫外線療法	日本皮膚科学会
59	痔核腫瘍摘除	日本痔瘻学会
60	細胞診術中迅速検査	日本病理学会
61	傍大動脈リンパ節郭清術	日本婦人科腫瘍学会
62	ハルーンカテーテルによる大動脈遮断	日本腹部救急医学学会
63	有床義歯を用いた顎位調整処置	日本補綴歯科学会
64	画像誘導放射線治療	日本放射線腫瘍学会
65	手術室薬剤管理料	日本薬学会
66	注射薬調剤料	日本薬学会
67	神経モニタリングの使用加算	日本臨床神経生理学会
68	CT・MRI検査のプレパレーション	看護系学会等社会保険連合
69	地域で暮らす精神障害者のための精神科看護師による電話相談	看護系学会等社会保険連合

(注) なお、26については、学会提案後に保険収載された技術である。

7

(別紙3)

再評価する優先度が高いと考えられる既存技術 (案)

	提案書の技術名	主申請団体	概要
1	呼吸器リハビリテーション料 (関与する医療従事者の拡大: H003)	日本リハビリテーション医学会	呼吸器リハビリテーション料の再評価 (関与する医療従事者の拡大)
2	呼吸器リハビリテーション料 (算定要件の見直し: H003)	日本リハビリテーション医学会	呼吸器リハビリテーション料の再評価 (算定要件の見直し)
3	疾患別リハビリテーション料の通減制の撤廃	日本リハビリテーション医学会	【廃止】疾患別リハビリテーション料の通減制の廃止
4	コンピュータによる画像処理を行った場合の加算点数の増点および施設基準	日本医学放射線学会	コンピュータによる画像処理を行った場合の加算の再評価 (点数の見直し等)
5	画像診断管理料1, 画像診断管理料2	日本医学放射線学会	画像診断管理料の再評価
6	動脈造影カテーテル法 (E003 3)	日本医学放射線学会	動脈造影カテーテル法の再評価
7	食道悪性腫瘍手術	日本外科学会	食道悪性腫瘍手術の再評価
8	ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	日本核医学会	ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影の再評価
9	ウイルス慢性肝疾患患者におけるAFPとPIVKA-IIの同時測定	日本肝臓学会	ウイルス慢性肝疾患患者におけるAFPとPIVKA-IIの同時測定した場合の評価
10	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	日本肝臓学会	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法の再評価
11	角膜移植	日本眼科医会	角膜移植術の再評価
12	緑内障濾過手術	日本眼科学会	緑内障手術 (流出路再建術, 濾過手術) の再評価
13	感染患者の手術における加算	日本救急医学会	感染症患者における手術の再評価
14	厚生労働大臣が定める疾患及び顎変形症に起因した咬合異常に対する歯科矯正治療	日本矯正歯科学会	厚生労働大臣が定める疾患及び顎変形症に起因した咬合異常に対する歯科矯正治療の再評価
15	全層・分層植皮術	日本形成外科学会	全層・分層植皮術の再評価
16	抗酸菌同定検査1 (ナイアシンテスト D021-1)	日本結核病学会	【廃止】抗酸菌同定検査 (ナイアシンテスト) の廃止
17	抗酸菌分離培養検査1 (D020-1)	日本結核病学会	抗酸菌分離培養検査 (抗酸菌分離培養検査1) の再評価

18	抗酸菌薬剤感受性検査 (D022)	日本結核病学会	抗酸菌薬剤感受性検査の再評価
19	胸部 CT アンギオ (冠動脈)	日本血管内治療学会	冠動脈 CT の評価
20	気管・気管支ステント留置術	日本呼吸器外科学会	気管・気管支ステント留置術の再評価
21	心肺運動負荷試験	日本呼吸器学会	トレッドミル負荷試験の再評価
22	スケーリング・ルートプレーニング	日本歯周病学会	2回目以降のスケーリング・ルートプレーニング技術の評価
23	歯周外科手術	日本歯周病学会	歯周外科手術の再評価
24	咽頭異物摘出術 2. 複雑なもの	日本耳鼻咽喉科学会	咽頭異物摘出術 (複雑なもの) の再評価
25	上顎洞穿刺	日本耳鼻咽喉科学会	上顎洞穿刺の再評価
26	トレッドミル負荷試験	日本循環器学会	トレッドミル負荷試験の再評価
27	ペースメーカー電池交換	日本循環器学会	ペースメーカー交換術の再評価
28	経皮的冠動脈形成術 (高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによる)	日本循環器学会	経皮的冠動脈形成術 (高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの) の再評価 (施設基準の見直し)
29	両室ペースティング機能付き植込み型除細動器 (CRT-D) 皮下移植術	日本循環器学会	両室ペースティング機能付き植込み型除細動器移植術の再評価
30	生体部分肝移植術の対象疾患の拡大 (小児肝芽腫に対して)	日本小児外科学会	生体部分肝移植の再評価 (小児肝芽腫に対する対象疾患の適応拡大)
31	組織試験採取, 切採法 末梢神経 (主に腓腹神経)、骨格筋 (D417)	日本神経学会	組織試験採取, 切採法 (末梢神経) の再評価
32	埋込型補助人工心臓	日本人工臓器学会	埋込型補助人工心臓の再評価 (要件の見直し)
33	精神科退院前訪問指導料 (I 011-2)	日本精神科病院協会	精神科退院前訪問指導料の再評価
34	同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞移植 (K922)、移植骨髄採取 (K921)	日本造血細胞移植学会	同種骨髄移植の再評価
35	経食道超音波法 (D215 区分 3 UCG ハ)	日本超音波医学会	経食道超音波法の再評価
36	グリコアルブミン	日本糖尿病学会	血液検査 (グリコアルブミン) の再評価
37	腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術の再評価
38	腹腔鏡下脾摘出術	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下脾摘出術の再評価
39	エストロゲンレセプター及びプロゲステロンレセプター検査	日本乳癌学会	エストロゲンレセプター及びプロゲステロンレセプター検査の再評価
40	脊髄腫瘍摘出術 1. 髄外のもの	日本脳神経外科学会	脊髄腫瘍摘出術 (髄外のもの) の再評価
41	頭蓋内微小血管減圧術	日本脳神経外科学会	頭蓋内微小血管減圧術の再評価
42	精巣・精巣上体組織試験採取術	日本泌尿器科学会	精巣・精巣上体組織試験採取術の再評価
43	ダーモスコピー	日本皮膚科学会	ダーモスコピーの再評価
44	鶏眼・胼胝処置	日本皮膚科学会	鶏眼・胼胝処置の再評価

45	細胞機能検査 6 リンパ球幼若化検査 (一連につき) (D-016)	日本皮膚科学会	細胞機能検査 (リンパ球幼若化検査) の再評価
46	腫瘍マーカー (D-009)	日本皮膚科学会	腫瘍マーカーの再評価
47	真菌・皮膚寄生虫顕微鏡検査	日本皮膚科学会	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 (その他のもの) の再評価
48	経鼻的下垂体腺腫摘出術	日本病院脳神経外科学会	経鼻的下垂体腺腫摘出術の再評価
49	内頸動脈狭窄症に対する頸動脈血栓内膜除去術	日本病院脳神経外科学会	内頸動脈狭窄症に対する頸動脈血栓内膜除去術の再評価
50	経皮的カテーテル心筋焼灼術	日本不整脈学会	経皮的カテーテル心筋焼灼術の再評価
51	コバルト 60 遠隔大量照射	日本放射線腫瘍学会	【減点】コバルト 60 遠隔大量照射の再評価 (点数の見直し)
52	放射線治療管理料	日本放射線腫瘍学会	放射線治療管理料の再評価
53	密封小線源治療 (旧型コバルト・新型コバルト)	日本放射線腫瘍学会	【減点等】密封小線源治療の再評価 (旧型コバルトの点数見直し等)
54	全身麻酔における重症患者規定の拡大	日本麻酔科学会	マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔の再評価 (重症患者の対象拡大)
55	帝王切開術の麻酔	日本麻酔科学会	麻酔管理料の再評価 (帝王切開術の麻酔の追加)
56	無菌製剤処理加算 (容量制限の廃止)	日本薬学会	無菌製剤処理加算の再評価 (容量制限の廃止)
57	輸血管理料 (I 及び II : K920-2)	日本輸血・細胞治療学会	輸血管理料の再評価
58	結腸切除術 1. 小範囲切除 2. 結腸半切除 (良性)	日本臨床外科学会	結腸切除術 (小範囲切除、結腸半切除) の再評価
59	食道狭窄拡張術 1. 内視鏡によるもの	日本臨床外科学会	内視鏡による食道狭窄拡張術の再評価
60	β -リポ蛋白、モノアミンオキシダーゼ (MAO)、T3 摂取率精密測定、免疫抑制酸性蛋白 (IAP)、ヴィダール反応、ナイアシントテスト	日本臨床検査医学会	【廃止】 β -リポ蛋白、モノアミンオキシダーゼ (MAO)、T3 摂取率精密測定、免疫抑制酸性蛋白 (IAP)、ヴィダール反応、ナイアシントテストの廃止
61	外来迅速検体検査加算	日本臨床検査医学会	外来迅速検体検査加算の再評価
62	モノクローナル抗体による造血器悪性細胞腫瘍検査	日本臨床検査専門医会	モノクローナル抗体による造血器悪性細胞腫瘍検査の再評価

その他の既存技術(案)

	提案書の技術名	主申請団体
1	血球成分除去療法	日本アフェレンス学会
2	血漿交換療法(適応疾患拡大:C型慢性肝炎患者)	日本アフェレンス学会
3	血漿交換療法(適応条件拡大:閉塞性動脈硬化症)	日本アフェレンス学会
4	血管造影における選択的造影の回数制限の撤廃	日本インターベンショナルラジオロジー学会
5	リハビリテーション施設基準(疾患別リハに総合リハ施設を並列する)	日本リハビリテーション医学会
6	生体部分肝移植術(レシピエント)	日本移植学会
7	特殊CT、特殊MRの施設基準の見直し	日本医学放射線学会
8	超音波凝固切開装置加算の拡大	日本外科学会
9	肝切除 1.リンパ節郭清加算、胆管切除加算、血管切除再加算(肝内)胆管癌)	日本肝胆膵外科学会
10	顎関節関節鏡下授動術	日本関節鏡学会
11	睫毛除去(2.多数の場合)	日本眼科医会
12	角膜内皮細胞顕微鏡検査(適応の拡大)	日本眼科医会
13	眼底カメラ撮影	日本眼科学会
14	人工心肺時の「逆行性冠灌流」の加算	日本胸部外科学会
15	人工弁再置換術	日本胸部外科学会
16	組織拡張器による再建手術(一連につき)	日本形成外科学会
17	結核菌群抗原精密測定(D012-29)	日本結核病学会
18	大腿動脈形成術、膝窩動脈形成術	日本血管外科学会
19	終夜睡眠ポリグラフィ	日本呼吸器学会
20	手術のK932 創外固定器加算の注にK076 靱帯的関節授動術を追加する	日本骨折治療学会
21	骨盤位娩出術	日本産科婦人科学会
22	間接法コンポジットレジニンレー	日本歯科保存学会
23	咬合調整	日本歯周病学会
24	心大血管疾患リハビリテーション料	日本循環器学会
25	運動負荷心エコー法	日本心エコー図学会
26	経皮的冠動脈ステント留置術	日本心血管インターベンション学会
27	経皮的冠動脈粥腫切除術	日本心血管インターベンション学会
28	ステントグラフト内挿入術(胸部大動脈)	日本心臓血管外科学会
29	ステントグラフト内挿入術(腸骨大動脈)	日本心臓血管外科学会
30	ステントグラフト内挿入術(腹部大動脈)	日本心臓血管外科学会
31	脳波検査(過呼吸、光および音刺激による負荷検査を含む)	日本神経学会
32	幼少児ギプス処置加算	日本整形外科学会
33	医療保護入院等診療料(I 014)	日本精神科病院協会
34	集団精神療法(I 005、006)	日本精神科病院協会
35	入院集団精神療法(I 005)	日本精神科病院協会
36	入院精神療法(簡便型精神分析療法を含む:I 001)	日本精神科病院協会
37	内視鏡下脊椎固定術 1.椎体に達するもの	日本脊椎脊髄病学会
38	骨盤臓器脱メッシュ手術(経閉鎖孔式・仙棘靱帯経由)	日本泌尿器科学会

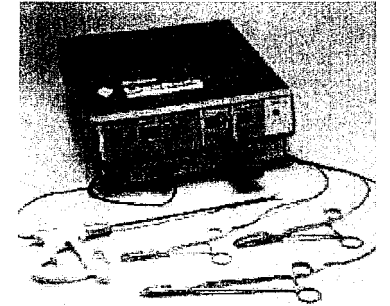
39	デブリードマン	日本皮膚科学会
40	免疫抗体法	日本病理学会
41	埋込型除細動器移植術	日本不整脈学会
42	子宮悪性腫瘍手術	日本婦人科腫瘍学会
43	ブリッジの平行測定	日本補綴歯科学会
44	レジン前装鑄造冠(臼歯部)	日本補綴歯科学会
45	大臼歯4/5冠修復について	日本補綴歯科学会
46	高エネルギー放射線治療	日本放射線腫瘍学会
47	全身照射	日本放射線腫瘍学会
48	直線加速器による定位放射線治療	日本放射線腫瘍学会
49	密封小線源治療	日本放射線腫瘍学会
50	調剤技術基本料(ICU等薬剤管理加算)	日本薬学会
51	調剤技術基本料(一包調剤加算)	日本薬学会
52	無菌製剤処理加算(抗癌性腫瘍剤の増点)	日本薬学会
53	インヒビター検査	日本臨床検査医学会
54	プロトロンビン時間、トロンボテスト	日本臨床検査医学会
55	神経磁気診断	日本臨床神経生理学会

先進医療の保険導入等で議論された医療技術

	提案書の技術名	主申請団体
1	経静脈的肝内門脈静脈短絡術 (TIPS)	日本インターベンショナルラジオロジー学会
2	腋窩リンパ節生検 SNB	日本外科学会
3	インプラント義歯	日本口腔外科学会
4	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	日本泌尿器科学会
5	接着ブリッジ	日本補綴歯科学会

1 ベッセルシーリングシステム

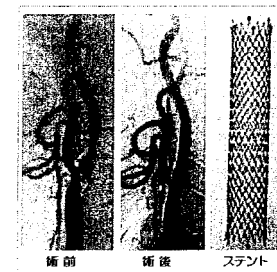
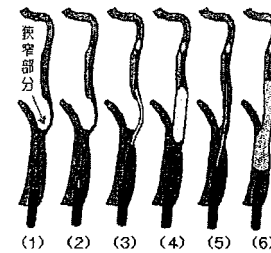
手術を行う際には、必ず出血を止めるために、止血が必要となるが、内視鏡手術では安全な止血を行うため、コンピューターにより自動制御された内視鏡手術用の電気メスにより止血を行う。



2 頸動脈狭窄に対する血管拡張・ステント留置術

大腿動脈から挿入したカテーテルを用いて、頸動脈の狭窄部位をバルーンで拡張する。そして、拡張後に血管壁内の粥腫等が脳内に飛散するのを防ぐ措置を講じた上で、ステントを狭窄があった部位まで誘導し留置する手術である。

治療時間は2時間程度で、治療の数時間後から食事、歩行が可能となる。



中医協 総 - 2
20. 1. 23

平成20年1月23日

中央社会保険医療協議会
会長 土田 武史 殿

先進医療専門家会議
座長 猿田享男

既存の先進医療に関する保険導入等について

先進医療専門家会議において、既存の先進医療（98技術）に係る保険導入等について検討した結果を取りまとめたので、その結果を報告するものである。

1 優先的に保険導入が適切であると評価された先進医療

以下の先進医療については、その普及性、有効性、効率性等に鑑み、保険適用とすることが適当と考える（別紙1）。ただし、技術の集約及び適応症や実施する施設等について適切な条件を附すこと等が必要であるとする。

- (1) 自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）
- (2) 強度変調放射線治療
- (3) 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術
- (4) 画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術
- (5) 顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術
- (6) 培養細胞による先天性代謝異常診断
- (7) 実物大臓器立体モデルによる手術計画
- (8) 歯周組織再生誘導法
- (9) 接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定
- (10) 焦点式高エネルギー超音波療法
- (11) レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法
- (12) S D I 法による抗がん剤感受性試験
- (13) 栄養障害型表皮水疱症のDNA診断

- (14) 家族性アミロイドーシスのDNA診断
- (15) 抗がん剤感受性試験
- (16) 不整脈疾患における遺伝子診断
- (17) 画像支援ナビゲーション手術
- (18) 生体部分肺移植術
- (19) 脊髄性筋萎縮症のDNA診断
- (20) 抗がん剤感受性試験（CD-DST法）
- (21) 中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断
- (22) グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断
- (23) 超音波骨折治療法
- (24) 眼底三次元画像解析

2 削除が適切であると評価された先進医療

以下の先進医療については、その先進性、有効性等に鑑み、先進医療から削除することが適当と考える（別紙2）。

- (1) 溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法
- (2) 人工中耳
- (3) 性腺機能不全の早期診断法
- (4) エックス線透視下非観血的唾石摘出術
- (5) 血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断
- (6) オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術
- (7) 顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術
- (8) 顎関節脱臼内視鏡下手術
- (9) マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断
- (10) 耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法
- (11) 特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断
- (12) 遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断
- (13) 高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断
- (14) 活性化血小板の検出
- (15) 腹腔鏡下広汎子宮全摘出術

別紙1 優先的に保険導入が適切であると評価された先進医療

告示番号	先進医療技術名	技術の概要	先進医療等の適用年月日
1 2	自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PH)(直腸粘膜脱又は内痔核に係るものに限る。)	リング型の高周波切除器を用いることにより、腺筋症組織のみを正常の子宮筋層と分離して切除(核出)する技術。	平成17年11月1日
2 5	強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍に係るものに限る。)	直線加速器(リニアック装置)による高エネルギー放射線を用い、最適化計算を利用して正常臓器と悪性腫瘍病変が複雑に隣接する場合でも悪性腫瘍のみに高い放射線量を照射できる技術。	平成18年5月1日
3 7	内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(泌尿生殖器腫瘍(腎腫瘍、前立腺癌又は副腎腫瘍)に係るものに限る。)	開放手術の利点(立体視、低コスト)と腹腔鏡下手術の利点(低侵襲性)を併せ持つ術式であり、小切開(ミニマム創)で、ガス不使用なので腹膜損傷も少なく、また小切開創から立体視が可能な技術。	平成18年8月1日
4 8	画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術(慢性副鼻腔炎、副鼻腔のう胞又は鼻副鼻腔良性腫瘍に係るものに限る。)	内視鏡を用いた副鼻腔手術において、手術前の画像診断で得られた情報と術野の位置を的確に反映させるコンピューターガイド(画像支援ナビゲーション)の使用により、術野の位置および危険部位の確認ができ、安全で適切に手術を行うことができる技術。	平成18年9月1日
5 9	顔面骨又は頭蓋骨の親骨的移動術(顔面骨又は頭蓋骨の先天奇形に係るものに限る。)	顔面骨、頭蓋骨の広範な骨切り術を行い、先天的な奇形を矯正する技術。	昭和60年11月1日
6 12	培養細胞による先天性代謝異常診断(胎児又は新生児に係るものに限る。)	治療が遅れると重篤になる先天性代謝異常症を出生前もしくは新生児期に診断し、早期治療を行うための技術。	昭和61年12月1日
7 18	実物大臓器立体モデルによる手術計画(頭蓋顎顔面領域の骨変形、欠損若しくは骨折又は骨盤、四肢骨若しくは脊椎の骨格に変形を伴う疾患に係るものに限る。)	CT(コンピューター断層撮影)等の画像データから実物大立体モデルを作成し、手術方法の計画を立てるための技術。	平成5年11月1日
8 19	歯周組織再生誘導法(歯周疾患による根分岐部病変又は垂直性骨欠損に係るものに限る。)	生体親和性の優れた膜(メンブレン)を使用し歯周組織の再生を促す技術。	平成6年7月1日
9 20	接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定(少数歯欠損又は動揺歯に係るものに限る。)	接着性レジンセメントの強固な接着力により、ブリッジの維持および固定や動揺歯の連結固定を行う技術。	平成7年2月1日

10 28	焦点式高エネルギー超音波療法(前立腺肥大症に係るものに限る。)	経直腸的に挿入したプローブから超音波を放射し、腫大した前立腺肥大症を治療するための技術。	平成9年11月1日
11 29	レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法(齶蝕症又は歯周疾患による歯石沈着症に係るものに限る。)	齶蝕の除去について、従来の切削器具を使用せずに、レーザーを応用して振動や音ならびに痛みを少なくする技術。	平成9年11月1日
12 36	SDI法による抗がん剤感受性試験(がん性腹膜炎又はがん性胸膜炎に係るものに限る。)	進行がん罹患している患者に対して、抗腫瘍性殺細胞効果を確実に期待できる抗がん剤を、患者自身の腫瘍の特性に応じて選択することができる技術。	平成11年6月1日
13 37	栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	栄養障害型表皮水疱症の鑑別が困難な病型を遺伝子診断により確定する技術。	平成11年7月1日
14 38	家族性アミロイドーシスのDNA診断	発病初期における確定診断が困難である家族性アミロイドーシス(FAP)の診断を行う技術。	平成11年7月1日
15 41	抗がん剤感受性試験(進行胃がん、大腸がん、食道がん、頭頸部進行がん、進行乳がん、消化器がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸・体がん又は卵巣がん(胸水又は腹水例を含む。))に係るものに限る。)	患者のがん組織に対する抗がん剤感受性試験を行い、個々の患者に有効かつ適切な抗がん剤の選択を行う技術。	平成12年3月1日
16 43	不整脈疾患における遺伝子診断(先天性QT延長症候群に係るものに限る。)	先天性QT延長症候群患者の遺伝子診断を実施することにより、適正な治療法の選択が可能となる技術。	平成12年3月1日
17 45	画像支援ナビゲーション手術(頭頸部若しくは脊椎の腫瘍、血管病変又は脊椎病変に係るものに限る。)	術前画像による病変位置と術中の部位情報を精密に統合し、手術の進行に合わせて画面表示することにより、安全に手術を行うことができる技術。	平成12年10月1日
18 49	生体部分肺移植術(原発性肺高血圧症、特発性間質性肺炎、気管支拡張症、肺リンパ脈管筋腫症、閉塞性細気管支炎、間質性肺炎、のう胞性肺繊維症又は肺のう胞症に係るものに限る。)	肺移植以外に治療法のない末期の肺疾患であって、脳死ドナーからの臓器提供が待てない患者に対して、健康なドナー2人から、それぞれ肺の一部を移植する技術。	平成15年2月1日
19 58	脊髄性筋萎縮症のDNA診断	最新の高度な遺伝子解析技術を用いて正確な診断を行う技術。	平成15年11月1日

20	76	抗がん剤感受性試験(CD-DST法)(消化器がん、乳がん、肺がん又はがん性胸・腹膜炎に係るものに限る。)	患者より採取した腫瘍組織から腫瘍細胞を単離しCD-DST(collagen gel droplet-embedded culture drug sensitivity test)法で処理することにより、臨床検体が微量であっても各抗がん剤の抗腫瘍効果を評価することが可能であり、治療に際し適切な抗がん剤を選択することができる技術。	平成16年11月1日
21	79	中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	末梢血液から特定遺伝子を取り出して診断を行う。これにより遺伝子変異の種類による重症度予測が可能となり、それに応じた療養指導、症状の進行の予防に役立てることができる技術。	平成16年12月1日
22	89	グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断(ラスマッセン脳炎、小児の慢性進行性持続性部分てんかん又はオプンクローヌス・ミオクローヌス症候群に係るものに限る。)	発症原因と考えられるグルタミン受容体自己抗体の有無を検査し、疾患の診断を行う。これらの疾患では、侵襲の大きい治療が必要となるが、正確な診断により不適切な治療を避けることができる技術。	平成17年9月1日
23	94	超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。)のうち、観血的手術を実施した場合に限る。)	微弱な超音波を1日1回20分間、骨折部に与えることで骨折治癒を促進する技術であり、新鮮骨折の骨癒合期間を短縮することが複数の臨床試験で報告されている。本治療法は非侵襲的で、副作用も少なく、従来の骨折治療に追加するだけの有用な技術。	平成18年11月1日
24	95	眼底三次元画像解析(黄斑円孔、黄斑前膜、加齢黄斑変性、糖尿病黄斑症、網膜剥離又は緑内障に係るものに限る。)	これまでの眼底検査では行えなかった網膜断面の観察や立体構造の数値的解析を行うことができる。現在、本解析には基本的に3種類の検査装置のいずれかで行われている。いずれの方法も、装置にコンピューターが内蔵されており、取得データの数値的解析・ファイリング、画像劣化のない半永久的保存などが可能であるため、従来の眼底検査では得られない情報の入手と情報管理が行える。	平成19年1月1日

別紙2 削除が適切であると評価された先進医療

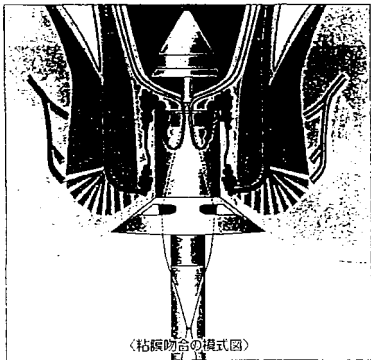
告示番号	先進医療技術名	技術の概要	先進医療等の適用年月日	
1	14	溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法(先天性溶血性貧血症に係るものに限る。)	溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析を行い、総合的に異常部位を診断する技術。	平成3年4月1日
2	17	人工中耳(慢性中耳炎その他の原因による難聴に係るものに限る。)	人工中耳を植え込むことによって聴力を回復する技術。	平成5年5月1日
3	22	性腺機能不全の早期診断法(小陰茎、停留睾丸、尿道下裂、半陰陽、原発性無月経、生理不順、多毛又は性染色体異常に係るものに限る。)	乳幼児期に性腺機能障害を診断し、適切な治療をすることで、患者が快適な人生を送ることが可能となる技術。	平成7年12月1日
4	24	エックス線透視下非観血的唾石摘出術(唾石症(唾石と導管壁との癒着がないものに限る。)に係るものに限る。)	X線透視下で、結石除去用カテーテルにより、非観血的に唾石を把持・摘出する技術。	平成8年8月1日
5	27	血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断(血小板無力症又はベルナル・スーリエ症候群に係るものに限る。)	血小板膜糖蛋白異常に起因する出血性疾患について、血小板機能異常症と他疾患の鑑別診断等により有効な治療方法を決定する技術。	平成9年9月1日
6	30	オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(腰椎椎間板ヘルニア(髄核が完全脱出でないヘルニアに限る。))に係るものに限る。)	MR(磁気共鳴診断装置)の正確性と低侵襲治療としてのレーザーによる蒸散を組み合わせ、高い安全性と正確性を確保した低侵襲の治療で、可能な限り髄核を温存しながら椎間板ヘルニアを蒸散する技術。	平成10年1月1日
7	31	顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術(顎関節脱臼又は顎関節内障のうち円板を中心とした顎関節内部の軟組織に異常を伴うものに限る。)	精度の高い画像診断のもとで、関節円板およびその周囲関節包などを弛緩した組織をレーザー手術と鏡視下での縫合の組み合わせにより、縫縮・固定する技術。	平成10年1月1日
8	34	顎関節脱臼内視鏡下手術(習慣性顎関節脱臼に係るものに限る。)	関節運動の障害となる側頭骨関節結節部を内視鏡下に削除、形成することにより脱臼症状を治療する技術。	平成11年1月1日

9	40	マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断（トランスサイレチン異常による家族性アミロイドーシスに係るものに限る。）	マス・スペクトロメトリー（質量分析法）を用いて血清を分析し、家族性アミロイドーシス（FAP）の早期診断を行う技術。	平成11年9月1日
10	50	耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	顎関節症の保存的治療で、ティンパノグラムによる中耳伝音系の機能側差を判断指標として客観的な生理的下顎位に誘導し、顎関節症および随伴する耳鼻咽喉領域症状の消退をはかる技術。	平成15年2月1日
11	63	特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	特発性男性不妊症・性腺機能不全症がY染色体の微少欠失に基づくものかどうかを判断し、不妊患者が治療法を選択する際のインフォームドコンセントやカウンセリングの資料とするための技術。	平成16年8月1日
12	64	遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	遺伝性コプロポルフィン症はCPO活性の低下により起こるが、これまでにCPO遺伝子について21種類の遺伝子異常が知られており、これらの遺伝子検索により当該疾患の確実な診断が可能となり、発症の早期発見・治療・予防が可能となる技術。	平成16年8月1日
13	72	高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断（基底細胞母斑症候群又はカウデン病に係るものに限る。）	末梢血を採取し、PCR法にて上記適応症の原因とされる遺伝子を確認する技術。	平成16年11月1日
14	84	活性化血小板の検出（急性期若しくは慢性期の脳梗塞、睡眠時無呼吸症候群又は心筋梗塞その他の動脈血栓症に係るものに限る。）	レーザー散乱光法と活性化血小板マーカーを用いて活性化血小板を測定する技術。	平成17年4月1日
15	90	腹腔鏡下広汎子宮全摘出術（早期子宮頸がん（臨床進行期Ibまでのものに限る。）に係るものに限る。）	初期子宮頸がんに対し、腹腔鏡を用いて腔式子宮全摘術を行う技術。	平成17年9月1日

保険適用とすることが適当な先進医療の例

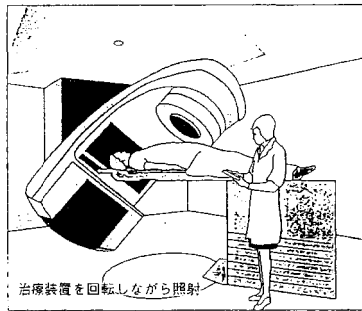
1 自動吻合器を用いた直腸粘膜脱
又は内痔核手術（PPH）

- 適応症
直腸粘膜脱、内痔核
- 先進性
自動吻合器を用いた痔核手術では、既に保険適用されている根治術と比較して、より低侵襲な手術が可能であり、患者の負担が軽減されます。
- 概要・効果
痔核手術として既に保険適用されている根治術は、肛門部皮膚を切開し、痔核につながる根部血管及び痔核を結紮・切除するものです。一方、自動吻合器を用いた内痔核手術（PPH）は、専用の自動吻合器を用い、痔核そのものを切除せず、痔核の上方にある脱出した直腸粘膜と血管を環状に切除、吻合し、痔核を正常の位置へと吊り上げ、縮小させるものです。
従来の方法と比べて侵襲を低減でき、肛門周囲の皮膚を切開しないため術後疼痛が少なく、従来法では1週間程度であった入院日数が4日程度まで短縮するなど、より短期間で退院が可能となります。
- 適用時期；平成17年11月



2 強度変調放射線治療

- 適応症
限局性固形悪性腫瘍
- 先進性
専用の放射線治療計画装置により最適化計算を行い、病巣だけに放射線を集中して照射することにより、従来の放射線治療と比較して周囲の正常な組織への照射を少なく抑えることが可能となり、患者の身体的負担を軽減できます。さらに、腫瘍線量を上げることで、腫瘍の制御が可能となります。
- 概要
放射線治療は、4門以上の照射、運動照射又は原体照射などで、深部悪性腫瘍に高線量を投与できるようになり、根治性が向上しました。しかし、中等度以上の体積の悪性腫瘍や、重要臓器を悪性腫瘍が取り囲み凹型の分布が必要な場合には、線量を増加できないでいました。
本治療法では、直線加速器（リニアック装置）による高エネルギー放射線を用い、最適化計算を利用して正常臓器と悪性腫瘍病変が複雑に隣接する場合でも、悪性腫瘍のみに高い放射線量を与えることができます。100門以上の複雑な形状の照射野を複数の方向から照射し、中等度以上の体積の悪性腫瘍や、重要臓器を避けるために凹型の分布が必要な悪性腫瘍に治療線量の照射を行います。病巣は、定位放射線治療に沿って定位され、専用の放射線治療計画装置により最適化計算され、1～2週間程度の検証作業の後、高速多段絞りを内蔵の直線加速器により照射されます。



3 歯周組織再生誘導法

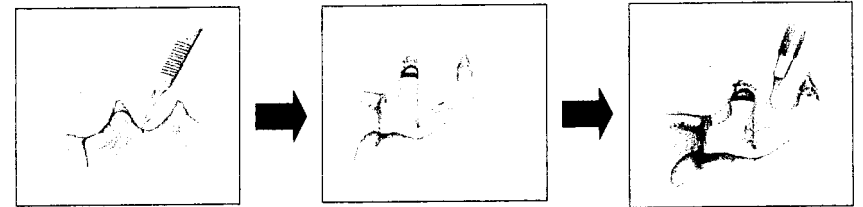
（概要）

歯周組織再生誘導法は、歯周疾患により歯槽骨が破壊、吸収し、露出した歯根の表面と歯槽骨の欠損部を吸収性又は非吸収性の膜（メンブレン）で被覆することで、歯根と歯根膜の再結合の阻害要因となっている歯肉細胞の侵入を防ぎ、歯根膜由来の細胞を歯根膜表面に優先的に誘導、付着させる歯周外科療法である。

本法を用いることによって、従来極めて困難と考えられていた歯根と歯根膜の再結合や歯槽骨等の再生が促進され、歯周疾患の病状の改善を図ることが可能となる。

（吸収性膜の場合）

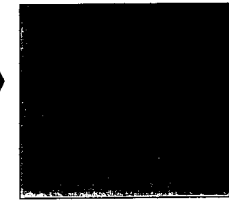
① 歯根面のルートプレーニングと搔爬および洗浄



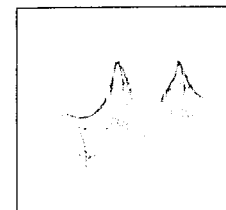
② GTR膜の準備・調整



③ GTR膜の装着・固定



④ 歯根膜細胞の選択的誘導



歯肉弁の縫合術後、歯周組織が再生

先進医療の保険導入等について

4 画像支援ナビゲーション手術
(頭頸部の腫瘍等)

● 適応症

頭頸部および脊髄の腫瘍、血管病変、脊椎病変

● 治療のポイント

術前の画像診断による病変の位置の情報と術中の手術部位の情報を精密に統合し、手術の進行に合わせて画面表示することにより、安全に根治性の高い手術を行うことができます。

● 解説

顕微鏡下での手術において、画像情報と手術部位の位置情報という2種類の別々の空間的情報を、極めて精密に重ね合わせ、手術の進行にあわせて表示する技術です。

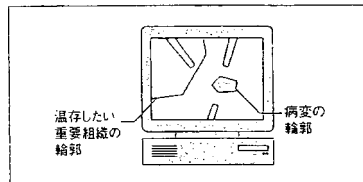
あらかじめ手術前に患者にマーカーを設置してCT、MRIを撮影します。このマーカーの位置がCT、MRIの画像と顕微鏡の焦点の位置情報を重ね合わせる際の基準点となります。手術中は手術部位(顕微鏡焦点)の位置を常に極めて高精度に計測し、いわばカーナビゲーションのように、顕微鏡の焦点の位置をコンピューター画面の画像内に表示すると同時に、顕微鏡視野内に目的病変や温存したい正常組織の輪郭を重ねて表示することができます。

この方法を用いることにより、現在どこを手術しているのか、どの方向に手術を進めるべきかが正確にわかり、より安全で根治的な手術が可能になります。

● 効果

深部病変に対して手術を進めるべき方向を知ることができます。また、肉眼では確認できないが画像上では診断が可能な、病変と正常組織の境界と、手術している部位の位置関係を常に確認しながら手術を進めることができます。したがって、この技術を用いることにより、安全で根治的な手術を短時間で行うことができます。

● 適用時期：平成12年10月



5 生体部分肺移植術

● 適応症

原発性肺高血圧症、特発性間質性肺炎、気管支拡張症、肺リンパ脈管筋腫症、閉塞性細気管支炎、間質性肺炎、嚢胞性肺線維症、肺嚢胞症

● 治療のポイント

健康なドナー2人から、それぞれ肺の一部を移植する治療法です。

● 解説

内科的治療の限界に達した末期肺疾患患者にとって、肺移植は、有効な救命手段です。しかし、日本においては脳死ドナーの数は極めて少なく、長期の待機期間が必要です。

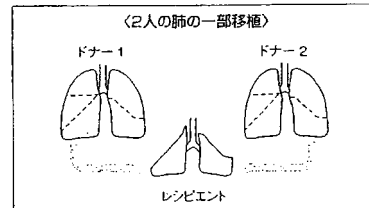
そのような場合、健康な提供者2人の肺の一部を移植する生体部分肺移植で患者を救命することができます。

提供者(ドナー)は、右あるいは左肺の一部(下葉)を患者(レシピエント)へ提供します。レシピエントへの移植は、人工心肺を使用して行い、患者の両肺を摘出して、提供者の右および左肺の一部を移植します。

● 効果

末期肺疾患患者に対する治療が可能となります。

● 適用時期：平成15年2月



1. 現状

先進医療については、国民の安全性を確保し、患者負担の増大を防止するとともに、国民の選択肢を拡げ、利便性を向上するという観点から、保険診療との併用を認めることとしている。

また、先進医療については、将来的な保険導入のための評価を行うものとして、保険診療との併用を認めたものであり、実施している保険医療機関から定期的に報告を求めることとしている。

2. 保険導入案

○ 先進医療の保険導入等は診療報酬改定に際し、実績報告等に基づき評価を行うこととする。

○ 先進医療を保険導入するにあたって考慮すべき事項は、「有効性」、「安全性」、「技術的成熟度」、「社会的妥当性」、「普及性」、「効率性」等とする。

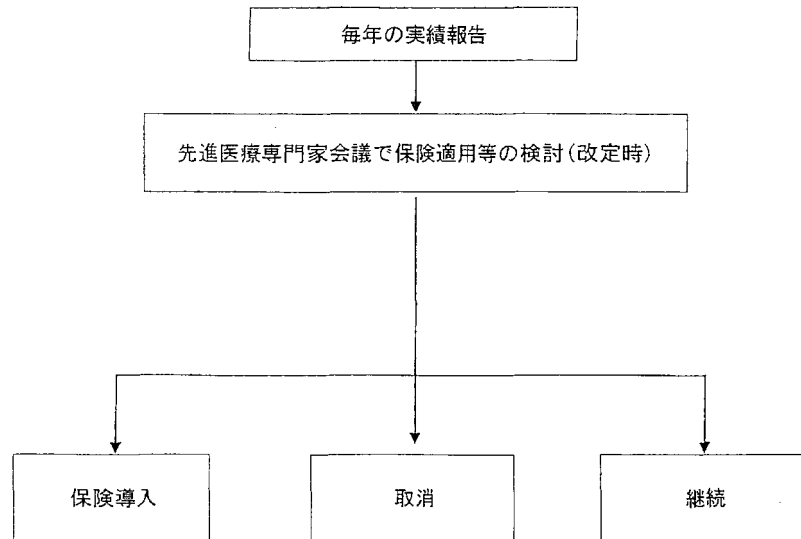
○ 先進医療の保険導入等に関する評価については、別紙の通りとする。

3. 評価の対象技術の範囲

評価の対象技術は、すでに先進医療となっている技術(平成19年度における実績報告の対象となった技術)とする。ただし、薬事法上未承認又は適応外使用に該当する医薬品及び医療機器を含む技術(平成20年3月末までの限定的先進医療技術)を除いた技術とする。

(参考)

○ 保険適用までの流れ



なお中医協において、先進医療専門家会議の報告内容を審議し、
保険導入する技術を決定する。